

# 学校だより



令和5年  
5月26日



## 教育目標

「自分を育て 人とつながり 自己実現する児童生徒の育成」

廿日市市小中一貫教育

愛称 まなびの森

## 吉和学園

廿日市市立吉和小・中学校

## 校訓

小学校 正しく やさしく たくましく  
中学校 誠 実

## 校長室から

子どもは思いをもっています

毎朝、地域の方が学校の門に立ってくださり、児童生徒を挨拶で迎えてくださいます。雨の日も寒い日も立ってくださり、毎日のことで、本当に頭が下がる思いです。登校してくる児童生徒一人一人に「おはよう。」「元気にしとる?」と声をかけてくださり、朝から元気が出ます。毎週水曜日には、児童生徒会の人たちも加わって挨拶運動を行います。



雨の日の登校時にあった出来事です。2年生の男の子が、カエルの卵が道にあるのを見つけ、それを見てほしいと言ってきました。その場所に一緒に戻ると確かにありました。「あなたは卵をどうしたいの?」と尋ねると「水の中に入れてたい。」と答えたので入れました。その後、再び学校の門まで戻った時、地域の方から「どうしたの?」と聞かれ、男の子は「カエルの卵があった。」と返しました。「カエルの卵が珍しかったの?」と更に聞かれた時「今日は雨だけど、晴れたら心配だから水の中に入れて。」と答えました。彼はしたことだけではなく、なぜそれをしたのかを自分の言葉で伝えることができたのです。昨年度、吉和学園では説明力を育てる取組を行っており、その成果が出ていると感じました。ご家庭でも、たどたどしいかもしれませんが、時間がかかるかもしれませんが、子どもたちの話をじっくり聞いてください。子どもたちは、自分の思いをもっています。



## 「命の大切さについて考える日」



廿日市市では、毎年5月8日を「命の大切さについて考える日」と設定されており、廿日市内内の小学校・中学校では「命の大切さについて考える集会や授業を行い、児童生徒に自分たちの生活をふりかえる取組をしています。吉和学園では、朝の時間に全校朝会、1校時に道徳の時間を行い、全校で取り組みました。



全校朝会

1校時の道徳の時間

### 〇児童生徒会長より

「言い出す勇氣 止める勇氣」

いじめを受けたら我慢をしない。周りの大人に話をして自分を守ろう。いじめを見つけたら、止めさせよう。そして、吉和学園をいじめのない学校にしていこう。



自分の言動が友達をさみしい気持ちにさせたり、傷つけたりしていないか、一人一人が振り返りました。そして、めざす姿や学校について語り合いました。



## 児童生徒総会

### 令和5年度児童生徒会目標

「Union」

U:動こう

N:仲間と

I:いっしょに

O:お手本になって

N:何事も

小学校 学級目標

1年 「がっこうだいすき みんなだいすき」

2年 「えがお」

3・4年 「元気」

5・6年 「人と協力し、仲よく学び合う最高のクラス」

やまびこ 「たのしく なかよく なんでも がんばる」

中学校 学級目標

7年・はやぶさ 「四人一心」

8年 「全力信走」

9年 「夢に挑み、協力し、  
共に進むクラス」

5月18日(木)に児童生徒総会が行われました。今年度は、全校児童生徒が多目的ルームに集まった総会となりました。この総会は、みんなが楽しく学校生活を送ることができるように、みんなで自分たちの役割を考えたり、みんなでできることを話し合ったりする会です。そのために、児童生徒会の目標に向かって、各学級でできることを目標にして、それを全校へ説明する活動も行いました。このような授業を通して、児童生徒に自主的に身の回りの環境をよりよいものに変えていこうとする力を身につけています。



## あゆの放流体験学習

5月22日(月)親水公園で、あゆの稚魚の放流を行いました。天候にも恵まれたので、中学生は裸足で川に入って放流しました。これまでも吉和川で稚魚を放流していることは学習してきました。今日の体験では、放流をどこで、どのように行っているかだけでなく、なぜ放流を行うのかを説明できる力を身につけることができました。

この学習にあたり、吉和漁業組合の皆さんに、準備や支援をしていただきました。本当にありがとうございました。



放流体験後は、学校で山崎会長から話を聞きました。数十年前、吉和川でアユが姿を消してしまい、どうしたら戻ってくれるかを研究されて、やっと現在のようになつたそうです。



【授業参観・学級懇談会の案内】6月16日(金)

■授業参観 13時45分～14時35分(9年生進路説明会)

■学級懇談会 14時45分～15時25分